

実現する! その1

■ 私立高校授業料の実質無償化が実現!

都議会
公明党が
提言

私立高無償化、4月から
世帯
年収 **910万円** まで
対象拡大

東京都は、現在「年収760万未満」である対象世帯を2020年4月より拡大。

さらに、年収910万以上の世帯（高校生を含む3人以上の子どもを扶養）についても都立高校年間平均授業料の半額を助成します。

■ 保健・医療・福祉の総合プラザ (うめとびあ)が 開設へ

区民の健康増進を担う総合拠点が実現しました。保健センター、福祉人材育成・研修センター、認知症在宅生活サポートセンター、初期救急診療所、休日夜間薬局の運営が始まりました。



■ 世田谷区 児童相談所が 開設へ

子どもの命と人権を守る効果的な児童相談について一元的に取り組むべきとの主張が実現しました。相談から保護まで区の責任による運営がスタートしました。



実現する! その2

■ 蓄電池の導入が実現へ!

- 指定避難所96箇所と帰宅困難者支援施設11箇所へ大容量ポータブル型を配備します。(2020年8月予定)
- 区民向け蓄電池の補助制度の導入します。
定置型蓄電池システム、小型ポータブル蓄電池システム
(小型可搬式)

① 定置型蓄電池の補助額(上限5万円)

(例) 100万円	自己負担 21万4千円	初期実行容量 6.8kWh×1万円 =6.8万円 上限 5万円
<機器の概要> 蓄電容量 8.0kWh 初期実行容量 6.8kWh 15年保証	区 5万円	
	※(2) 都 60万円	
	※(1) 国 13万6千円	

- ※(1) 国の補助金「災害時に活用可能な家庭用蓄電システム導入促進事業費補助金」
 ※(2) 都の補助金「家庭におけるエネルギー利用の高度化促進事業」
 ※(1)※(2)の条件:対象機器は、一般社団法人環境共創イニシアチブに登録されていること。

② 小型ポータブル蓄電池の補助額(上限1万円)

(例) 6万円	自己負担 5万円	機器費 6万円×1/5 =1.2万円 上限 1万円
<機器の概要> 蓄電容量 400Wh	区 1万円	

ご挨拶

日頃からの温かなご支援に心より感謝申し上げます。

さて、新しい令和の時代が始まり共生への建設に向けた鼓動が響く一方で、世界各地で相次ぐ異常気象の被害や社会的立場における貧困、さらに感染症など気候変動に伴う防災や危機の回避への行動を起こす、すなわちSDGsの推進へ「行動の10年」と定め、持続可能な区民生活を實現するために働いていく決意です。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

佐藤弘人



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



佐藤ひろとは持続可能な開発目標SDGsを支援しています。